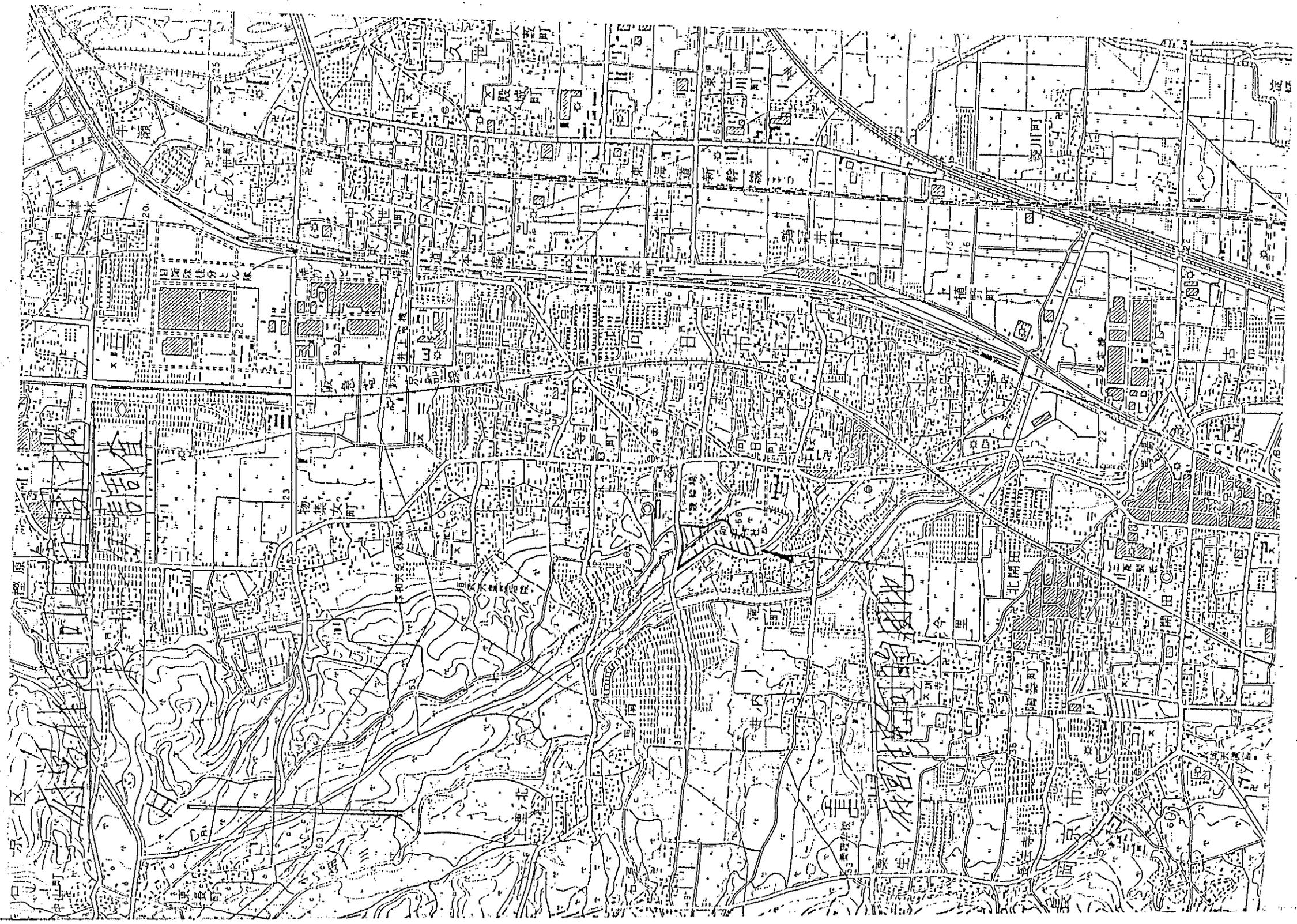


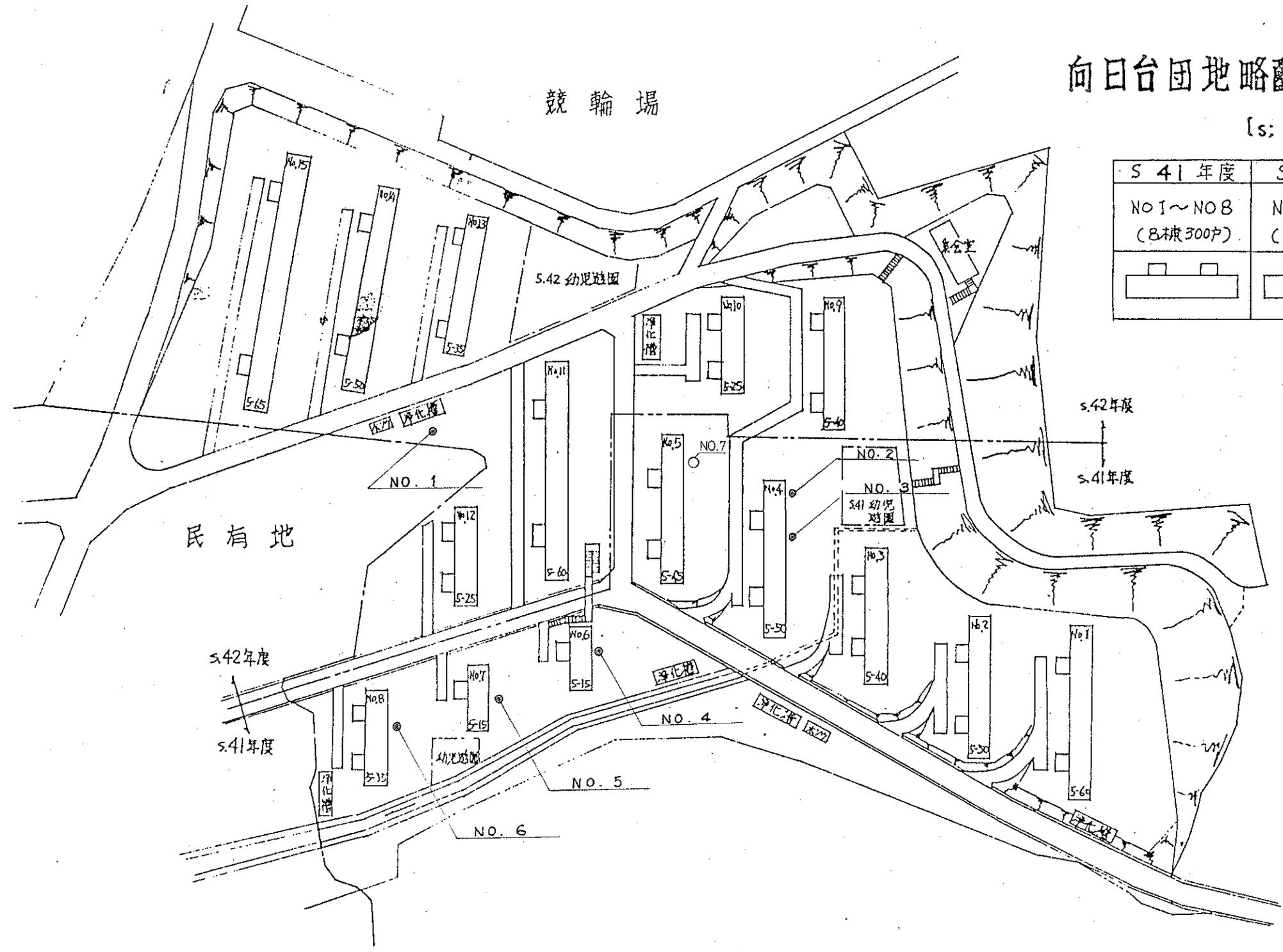
附近見取図



向日台団地略配置図

[s: 1/2000]

S 41年度	S 42年度
NO1~NO8 (8棟300戸)	NO9~NO15 (7棟300戸)



調査地点 No. 1 標高

調査地名 宮城県白河町北山74番

調査地点 No. 1 標高

調査年月日 昭和 年 月 日

日

地下水位 G.L. - 認められず

調査員 菊 久 泰 司

標尺 m	水位 m	深度 m	層厚 m	試料番号	断面記号	土質名	色	観察	相対密度	N 回/cm	打撃明細			標準貫入試験
											10 cm	20 cm	30 cm	
1	0.90	0.90	0.90	1	X	盛土	茶褐色	砂混り粘土玉体 上部φ10~20%位の礫混る 炭化物混る		4	1	2	1	○
2	1.40			2						7	2	2	2	○
3										4	1	2	1	○
4										6	2	2	2	○
5										8	2	3	2	○
6	6.20	6.30		3		粘土	青灰	若干砂混る 有機物混る		8	2	3	3	○
7										10	3	3	4	○
8				4		シルト質粘土		炭化物混る 若干炭化物混る		11	3	4	4	○
9	9.60	1.00		5		中砂	暗褐色	炭化物混る 若干シルト混る		16	4	6	6	○
10										16	4	6	7	○
11	11.10	1.50		6		粗砂		細礫及炭化物混る		17	5	5	7	○
12	12.00	0.90		7		砂	灰褐色	若干シルト混る 炭化物φ2~20%位		50	2	6		○
13										2.6				
14										60				
15										2.0				
16										50				
17										2.4				
18										6.0				
19										10.4				
20										10.6				
21										10.65				
22										10.78				
23										11.40				
24										11.47				
25														
26														
27														
28														
29														
30														
31														
32														

第 1 図 土質柱状図

調査名 府営住宅向日台団地地質調査委託 ボーリング方法 ローター式

調査位置 向日市向日町北山地区内

地点番号 No. 4 標高 TBM-0.70 m 調査年月日 63年 2月 8日 ~ 2月 9日

孔内水位 GL-3.20 m 担当者名 上田明男

備考

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記 事	標準貫入試験						
									深度 (m)	N 値 回	10cm毎の打撃回数				
1	-1.95	1.25	1.25	×	1.15	表土	黄褐~暗青灰	隙混じり砂質粘土 粘性小 含水小 1.05m~シルト粘性中	1.15	9	2	4	3		
2	-2.50	1.80	0.55	▨	1.45	粘土質砂	黄 灰	中~粗砂主体 含水小	1.45	30	10	10	10		
3				▨	2.15			粘性大	2.15	1	0	1	18		
4				▨	2.50			若干の有機物混入	3.15	5	1	2	2		
5				▨	3.15			下部所々砂質粘土挟む	3.45	30	10	10	10		
6	-6.00	5.30	3.50	▨	3.45	粘土質砂	濃青灰	上部砂質粘土挟む	4.15	7	2	2	3		
7	-6.60	5.90	0.60	▨	4.15	粘土質砂	濃青灰	粘性中~小 含水小	4.45	30	10	10	10		
8	-7.80	7.10	1.20	▨	4.45	砂	暗褐灰	細砂主体	5.15	13	3	5	5		
9	-8.70	8.00	0.90	▨	5.15	砂	暗褐~黄灰	中~粗砂の薄層挟む	5.45	30	10	10	10		
10	-9.15	8.45	0.45	▨	6.15	隙混じり砂	黄 褐	中~粗砂主体 含水小	6.15	21	7	6	8		
11	-9.50	8.80	0.35	▨	6.45	砂	黄 褐	中~粗砂主体 含水小	6.45	30	10	10	10		
12	-10.10	9.40	0.60	▨	7.15	隙混じり砂	黄 灰	中~粗砂主体 含水小	7.15	36	12	12	12		
13	-10.40	9.70	0.30	▨	7.45	粘土質砂	淡黄灰	全体に若干の細隙混入	7.45	30	10	10	10		
14	-11.60	10.90	1.20	▨	8.15	砂	淡黄灰	細砂主体 含水小	8.15	54	19	18	17		
15	-11.95	11.25	0.35	▨	8.45	砂	暗黄灰	中~粗砂主体 含水小	8.45	30	10	10	10		
16				▨	9.15	砂	黄 灰	中~粗砂主体 含水小	9.15	40	15	14	11		
17				▨	9.45	砂	暗黄灰	中~粗砂主体 含水小	9.45	30	10	10	10		
18				▨	10.15	砂	淡黄灰	中~粗砂主体 含水小	10.15	51	18	16	17		
19				▨	10.45	砂	暗黄灰	全体に若干の細隙混入	10.45	30	10	10	10		
20				▨	11.15	砂	淡黄灰	細砂主体 含水小	11.15	65	19	22	24		
21				▨	11.45	砂	暗黄灰	中~粗砂主体 含水小	11.35	20	0	10	10		
22				▨	11.65	砂	淡黄灰	下部隙分多くなる	12.15	60	21	24	15		
23				▨	12.15	砂	淡黄灰	隙混じり砂	12.41	26	10	10	6		
24				▨	12.45	砂	暗黄灰	最大隙φ30mm程度	13.15	63	63				
25				▨	13.15	砂	褐	隙φ2~20mm 最大φ70	13.25	10	10				
26				▨	13.45										

第 2 図 土質柱状図

調査名 府営住宅向日台団地地質調査委託 ボーリング方法 ローター式
 調査位置 向日市向日町北山地内
 地点番号 No. 5 標高 TBM-0.27 m 調査年月日 63年 2月 8日～ 2月 9日

孔内水位 GL-5.10 m 担当者名 森島秀樹

備考

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記 事	標準貫入試験			
									深度 (m)	N 値 回	10cm毎の打撃回数	
1	-0.92	0.65	0.65	X	1.15	表土	暗褐～淡青灰	上部礫混じり粘土 下部中砂主体細礫混入	1.15	4	1	2
2					1.45			1.2m迄茶褐色 全体にやや固結状	1.45	30	10	10
3					2.15			粘性大	2.15	5	1	2
4					2.46			附着性大	2.46	31	10	10
5					3.15			附着性大	3.15	5	1	2
6					3.45			含水小	3.45	30	10	10
7					4.15			含水小	4.15	6	1	2
8					4.47			5.45m迄全体にシルト 分多く若干有機物混入	4.47	32	10	10
9					5.15			以深砂とシルトの互層	5.15	14	4	5
10					5.45			砂は細砂主体 含水小	5.45	30	10	10
11					6.15			粘性 附着性大 含水小	6.15	17	5	6
12					6.45			細～中砂主体 含水小	6.45	30	10	10
13					7.15			細～中砂主体 含水小	7.15	36	9	12
14					7.45			所々若干の細礫混入	7.45	30	10	10
15					8.15			細～中砂主体 含水小	8.15	32	11	10
16					8.45			全体に中砂主体	8.45	30	10	10
17					9.15			全体に中砂主体	9.15	30	10	10
18					9.45			所々粗砂～細礫混入	9.45	30	10	10
19					10.15			11m以深粗砂分多小	10.15	45	16	14
20					10.45			含水小～中	10.45	30	10	10
21					11.15			礫φ2～5mm主体	11.15	51	15	17
22					11.45			全体に細礫主体含水小	11.45	30	10	10
23					12.15			最大礫φ20mm点在	12.15	60	21	26
24					12.40			全体にやや固結状	12.40	25	10	10
25					13.15				13.15	14	5	4
26					13.45				13.45	30	10	10

土質柱状図

京都府向日台地(8号棟)住戸
改善工事に伴う地質調査

使用機械 BELL-1型

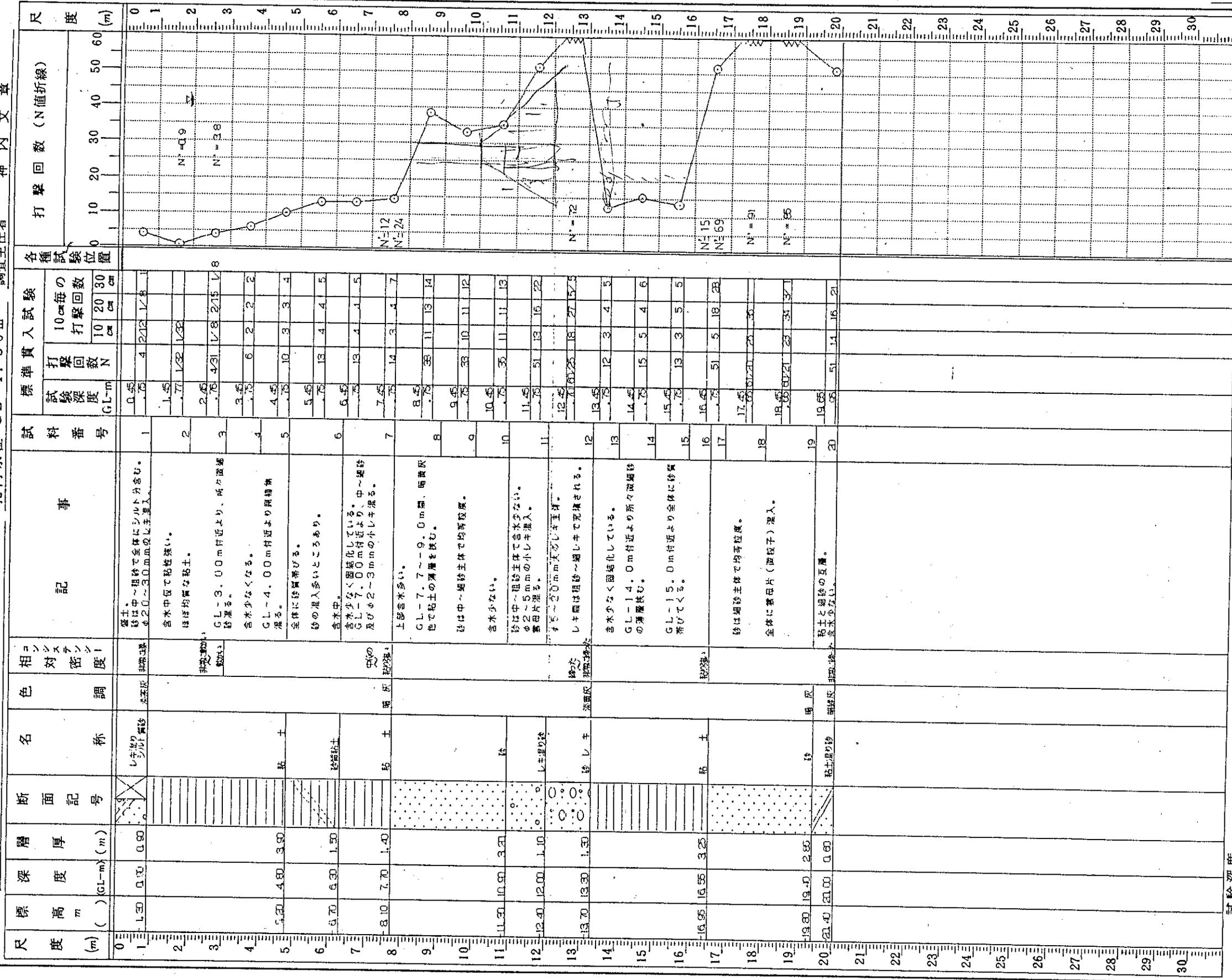
試験番号 No. 6

調査地名 京都府向日市向日町北山地区

作業担当者 坂本英恭

調査年月日 昭和62年1月22日～1月23日

調査主任者 神内文章



試験深度

記号

Ⅰ: 不攪乱試験

Ⅱ: 現場透水試験

Ⅲ: 水平方向載荷試験

○: 室内土質試験

